

9月8日 金曜日

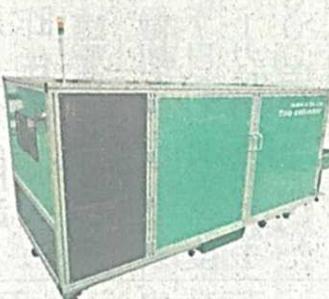
2023年(令和5年)

01

13版

2023年(令和5年) 9月8日・金曜日

リサイクル機械 東南アで時間貸し



プリント基板から
実装部品を取り除
く「エココレクタ
ー」

【富山】エムダイヤ（富山県滑川市、森弘吉社長）は、破碎・分離機や切断機といったリサイクル機械の販売で東南アジア諸国連合（ASEAN）市場に進出する。同地域での商機は広がるが、装置が高価なことから導入をためらう傾向が強いという。そこで機械の稼働時間に応じて利用料を受け取る「時間貸し」で需要を掘り起こす。機械商社などを通じて現地企業に提案。5年後に海外で20億円の売り上げを目指す。

まずは環境意識が醸成されつつあるインドネシア、タイ、ベトナム、シンガポールに照準を合わせる。エムダイヤは約5年前から東南アジア進出を志向し、国際協力機構（JICA）を通じた事業化調査（FS）などに参画。現地展開の機会をうかがってきた。ただ

エムダイヤは切断機などリサイクル機械を製造・販売している。近年は、電線メーカーとリサイクル会社の間でアルミニウム電線を

し」で需要を掘り起こす。機械商社などを通じて現地企業に提案。5年後に海外で20億円の売り上げを目指す。

まずは環境意識が醸成されつつあるインドネシア、タイ、ベトナム、シンガポールに照準を合わせる。エムダイヤは約5年前から東南アジア進出を志向し、国際協力機構（JICA）を通じた事業化調査（FS）などに参画。現地展開の機会をうかがってきた。ただ

具体的には自社開発したIoT（モノのインターネット）機器をリサイクル機械に搭載。稼働時間を同機器で詳細に把握し、利用者は使った時間分の料金を支払う仕組み。料金体系など詳細は今後詰める。事業が軌道に乗った時点で他のASEAN各国でも展開することを視野に入れること。

アルミニウム原料に再資源化する仕事を仲介する事業も手がけるなど、環境ビジネスの裾野を拡大。一層の成長に向けた次の一手として、海外展開に乗り出す。